



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 タツタ電線株式会社
コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,281	2.9	1,179	32.1	1,290	20.1	967	10.9
2023年3月期第2四半期	30,409	2.7	892	47.6	1,074	41.3	872	34.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,188百万円 (136.1%) 2023年3月期第2四半期 503百万円 (50.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第2四半期	15.66	
2023年3月期第2四半期	14.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第2四半期	59,597	49,070	82.3	794.28
2023年3月期	58,457	47,882	81.9	775.04

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 49,070百万円 2023年3月期 47,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		9.00		0.00	9.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	70,156,394 株	2023年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,376,359 株	2023年3月期	8,376,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	61,780,255 株	2023年3月期2Q	61,781,235 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。
- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが5類へ移行され、経済活動が正常化に向かうとともに、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で緩やかな持ち直しが続きました。世界経済も一部の地域において弱さがみられるものの、同感染症の影響が緩和される中で持ち直している状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社製品の主要原料である銅の当第2四半期連結累計期間の国内建値平均価格は、前年同期をやや上回る水準となりました。

この間において、国内銅電線の需要は前年同期をやや上回る水準で推移する一方で、産業機器電線分野では一部向け先で需要の鈍化もみられました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国を中心とした景況悪化、買い替え需要の長期化等により低迷し、素材需要もその影響を受けました。

こうした環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は31,281百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は1,179百万円（前年同期比32.1%増）、経常利益は1,290百万円（前年同期比20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は967百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

当社は、本第2四半期決算短信の提出日現在、株式会社東京証券取引所に上場しておりますが、2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、各国競争法上のクリアランスの見込みが立ち次第JX金属株式会社は当社株式に対する公開買付けを開始する予定です。

なお、2023年9月26日付けで公表した「（開示事項の経過）ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付け実施に向けた進捗状況のお知らせ」でお知らせしましたとおり、JX金属株式会社としては、中国競争法に基づく必要な手続及び対応が完了していないため、本公開買付けが開始される時期は2023年12月以降となることを見込んでいるとのことです。

本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、上場廃止となる予定です。

今後、両社の経営資源の効率的活用、電子材料分野における事業競争力の更なる強化、電線・ケーブル分野の事業基盤の強化等の事業シナジーを具現化し、企業価値向上に努めてまいります。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

銅価格高止まりによる買い控えの継続、産業機器電線における需要の鈍化はありましたものの、インフラ電線において建設電販及び電力会社向け等で増販（前年同期比5.2%増）となったこと、さらには原材料価格高騰による販売価格の見直しが浸透しつつあること等により、売上高は22,496百万円（前年同期比7.1%増）となりました。営業利益は上記に加え、品種構成改善、コスト削減等に努めた他、銅価変動影響もあり、755百万円（前年同期は20百万円の利益）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムは、主要用途であるスマートフォンの買い替え需要の長期化等により生産台数も低水準で推移したこともあり販売量が減少（前年同期比12.3%減）し、売上高は7,592百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は791百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

<その他事業セグメント>

医療機器部材は新規製品の拡販もあり増収となりましたが、センサー、環境分析の各事業では需要停滞、諸コストの増加もあり、売上高は1,207百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は17百万円の損失（前年同期は46百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ1,139百万円増加し、59,597百万円となりました。これは、短期貸付金が増加したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ49百万円減少し、10,526百万円となりました。これは、未払金が増加したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ1,188百万円増加し、49,070百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ0.4ポイント上昇し、82.3%となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,657百万円となり、前期末に比べ410百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,293百万円、減価償却費の計上882百万円、売上債権の減少664百万円等の資金増加要因から、未払消費税等の減少173百万円等の資金減少要因を差し引いた結果、2,722百万円の収入となりました。前年同期の2,138百万円の収入に比べ584百万円のキャッシュ・フロー増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出1,175百万円、短期貸付金の増加1,151百万円により、2,293百万円の支出となりました。前年同期の1,459百万円の支出に比べ833百万円のキャッシュ・フロー減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出により、0百万円の支出となり、前年同期に比べ555百万円のキャッシュ・フロー増加となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2024年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246	1,657
受取手形及び売掛金	20,973	20,331
製品	3,852	3,904
仕掛品	6,653	6,594
原材料及び貯蔵品	1,822	1,641
短期貸付金	4,611	5,762
その他	613	744
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	39,761	40,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,320
機械装置及び運搬具（純額）	3,032	2,816
工具、器具及び備品（純額）	371	361
土地	3,721	3,721
建設仮勘定	295	765
有形固定資産合計	15,929	15,985
無形固定資産		
ソフトウェア	136	119
ソフトウェア仮勘定	15	24
施設利用権	4	4
その他	1	1
無形固定資産合計	157	149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,067	1,224
長期前払費用	0	59
繰延税金資産	1,190	1,202
その他	521	512
貸倒引当金	△169	△161
投資その他の資産合計	2,609	2,836
固定資産合計	18,696	18,972
資産合計	58,457	59,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,279	4,195
未払金	1,243	893
未払費用	1,381	1,421
未払法人税等	87	477
その他	939	820
流動負債合計	7,931	7,807
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付に係る負債	1,572	1,660
資産除去債務	42	37
繰延税金負債	1	11
その他	127	109
固定負債合計	2,644	2,718
負債合計	10,575	10,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,792	39,759
自己株式	△2,459	△2,459
株主資本合計	47,525	48,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	366
繰延ヘッジ損益	131	218
為替換算調整勘定	△55	△41
退職給付に係る調整累計額	31	34
その他の包括利益累計額合計	356	577
純資産合計	47,882	49,070
負債純資産合計	58,457	59,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	30,409	31,281
売上原価	24,694	25,312
売上総利益	5,714	5,968
販売費及び一般管理費	4,822	4,789
営業利益	892	1,179
営業外収益		
受取利息	8	2
受取配当金	12	12
為替差益	142	77
その他	26	25
営業外収益合計	191	117
営業外費用		
支払利息	3	4
その他	5	1
営業外費用合計	9	6
経常利益	1,074	1,290
特別利益		
移転補償金	101	-
投資有価証券売却益	0	23
ゴルフ会員権売却益	-	0
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	102	26
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	20	4
公開買付関連費用	-	19
特別損失合計	20	24
税金等調整前四半期純利益	1,156	1,293
法人税、住民税及び事業税	342	421
法人税等調整額	△58	△95
法人税等合計	284	326
四半期純利益	872	967
親会社株主に帰属する四半期純利益	872	967

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	872	967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	116
繰延ヘッジ損益	△430	87
為替換算調整勘定	35	14
退職給付に係る調整額	9	2
その他の包括利益合計	△368	221
四半期包括利益	503	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503	1,188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,156	1,293
減価償却費	965	882
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	95
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△7	△7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△8
受取利息及び受取配当金	△21	△14
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△0	△23
補助金収入	△0	-
受取保険金	△5	△0
移転補償金	△101	-
支払利息	3	4
固定資産売却損益 (△は益)	0	△2
固定資産廃棄損	20	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△195	664
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△113	202
その他の資産の増減額 (△は増加)	310	△116
仕入債務の増減額 (△は減少)	265	△80
未払金の増減額 (△は減少)	272	69
未払費用の増減額 (△は減少)	12	39
未払消費税等の増減額 (△は減少)	34	△173
その他の負債の増減額 (△は減少)	△241	△70
小計	2,418	2,757
利息及び配当金の受取額	12	14
利息の支払額	△3	△4
移転補償金の受取額	109	-
法人税等の支払額	△404	△45
補助金の受取額	0	-
保険金の受取額	5	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,138	2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△51	△1
投資有価証券の売却による収入	5	38
有形固定資産の取得による支出	△1,217	△1,175
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△25	△18
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△180	△1,151
その他	8	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,459	△2,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△556	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59	410
現金及び現金同等物の期首残高	1,389	1,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,448	1,657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,013	8,263	29,277	1,131	30,409	-	30,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	13	13	△13	-
計	21,013	8,263	29,277	1,144	30,422	△13	30,409
セグメント利益	20	1,190	1,210	46	1,257	△365	892

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△365百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,496	7,592	30,089	1,191	31,281	-	31,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	15	15	△15	-
計	22,496	7,592	30,089	1,207	31,296	△15	31,281
セグメント利益	755	791	1,546	△17	1,528	△349	1,179

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△349百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。